

おいしく食べて  
みんなで  
参加しよう!



グリーンコープの  
「こども基金」

# め菓子パンを購入することが 子どもたちの支援につながります! ぜひご購入ください!

日本では今、経済的な格差が広がり、  
貧困の中、お腹いっぱい食べられない子どもたちが増えています。  
グリーンコープは子どもたちをみんなで支え合い  
助け合う仕組みをつくってきました。  
これからも子どもたちの支援を続けていくための財源を確保するため、  
「一般社団法人グリーンコープこども基金」を  
設立しました。グリーンコープの菓子パンを購入することが  
未来を担う子どもたちの支援につながります。



2021年8月23日週配布の  
カタログ注文から

※写真はこども基金対象の  
め菓子パンの一例です。

## 子ども支援の財源のひとつとしてめ菓子パン類の課金が始まります!

組合員が考えた  
このマークが目印!

# こども 基金 +3円



こども基金として課金されるめ菓子パンを、  
カタログGREENで案内しています。

※本体価格とは別に、「一般社団法人グリーンコープこども基金」として+3円をお預かり  
します。共同購入の場合、請求書には「基金」と記載されます。



### 一人ひとりの想いが 大きな力になります!

一般社団法人グリーンコープ共同体  
代表理事 熊野 千恵美さん

6人に1人の子どもが貧困状態にあるという現実。  
このことを知った時、本当にショックでした。何  
かせずにいられなくて、組合員、ワーカーズによって、  
朝食支援や子どもたちの居場所づくりが始まってい  
ますが、継続していくためには財源が必要です。

朝食支援の現場では、菓子パンを初めて食べる子、  
苦しくなるほどほおぼる子がいるそうです。だから  
こそ、め菓子パンに財源につながる課金をしたいと  
考えました。どうぞ、菓子パンの購入をよろしくお  
願います。

## 一般社団法人グリーンコープこども基金の財源

### 菓子パン利用の際の 寄付金(3円/1商品)

組合員が菓子パンを購入する際に、3円を寄付金として積み立て。

### 一般社団法人 福祉活動組合員基金 からの助成

組合員が毎月100円ずつ拠出している参加型福祉の財源。

### 一般社団法人 抱樸館を支える会 からの寄付

「抱樸館を支える会」の会費より、一部を子どもの居場所支援に活用。

## 一般社団法人グリーンコープ こども基金

2021年度の事業収入(見込み)  
**5,200万円**

### グリーンコープ生協 共済手数料の1%

CO・OP共済事業で得る収益の中から、共済事業に必要な経費を除いたお金の1%を拠出。

### カタログ古紙 回収事業収入

組合員から回収されたカタログを古紙回収業者に渡して得られた利益。グリーンコープの各生協から拠出。

### 共済たすけあい 活動助成金

CO・OP共済事業で得る収益の剰余金から、地域で行う福祉活動などに助成。

## 一般社団法人 グリーンコープこども基金は、 このような支援に活用されます

### グリーンコープが運営する 子どもの居場所

一緒に食事をしたり、遊んだり、子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくっています。

ひあかり

日明けんきもりもりハウス(福岡県北九州市)  
片縄げんきもりもりハウス(福岡県那珂川市)  
名島げんきもりもりハウス(福岡県福岡市)  
吉野寺みらい食堂(鹿児島県鹿児島市)  
田崎げんきもりもりハウス(熊本県熊本市)  
清水げんきもりもりハウス(熊本県熊本市)  
長嶺げんきもりもりハウス(熊本県熊本市)

### 地域の取り組みへの支援

子どもの居場所や子ども食堂へ食材を提供しています。組合員が運営に関わっているところもあります。

- ・ 地域の子どもの居場所の運営支援と食料提供
- ・ 子ども食堂の運営支援と食料提供
- ・ 小中学校の朝食支援への食料提供  
福岡県内の14の小中学校、大分県内の6つの小中学校やフリースクールにパンや牛乳、バナナなどの食材を提供しています。
- ・ 大学への食料提供

## 一般社団法人グリーンコープこども基金 設立趣意書

『元気な子どもの笑顔、家族の健康、窓辺にこぼれるやわらかな日差し、小鳥の鳴き声…私たちの願いはこのささやかな、そして、基本的な希望が子どもたちの未来にまで続いていくことにあります。』

1993年採択された第一次「夢ヲかたちに」の冒頭はこの言葉で始まります。

子どもたちがお腹一杯食べ、一生懸命学び、無邪気に遊び、そして安心して眠るそんな基本的な希望がずっと続いてほしい、母親の願いは今も変わりません。

2014年11月、私たちはスクールソーシャルワーカーから毎日の食事も満足にとることが出来ない子どもが6人に1人いると聞き愕然としました。

我が子も、よその子も健やかに幸せに育ててほしいと願う私たちはすぐさま何かをしないではいられませんでした。

しかし、当時は公に即座に動くこと自体が貧困を知らせることになり、差別を生み出し、更にその子たちを追い込むという構図がありました。そこで発想されたのが困窮者支援ではなく、すべての子どものお腹を満たす事でした。

家庭で満足に食べている子もそうでない子も、分け隔てなく食べものを一緒に食べる場所を提供し、そこに行けば食べものもあるという空間を作り出しました。

そうする中で知ったのは、食べものを満足に食べることができない子どもたちには居場所がない、いつでもそこに行けば食べることができて、安心できる場所とそれを支える大人が必要だと、たどり着きました。

当時は、小中学校や地域の有志の皆さんからの相談に応える形の支援が多かったのですが、その後グリーンコープらしい、子どもの生きる力を育む居場所作りをすすめてきました。今では様々な団体や行政からの相談もあり、地域住民であるグリーンコープ組合員が出会い、交流しお話を伺い、共感をもって応援を始めていて、その数は年々増え続け、そして広がっています。

また、2020年に起こった新型コロナウイルスの影響でアルバイトもままならない大学生たちからの応援要請や仕事を失ったり、減って

しまったりした家庭に食べものをお渡しする活動もしました。

子どもには必ず「母」と「父」がいます。

しかし、その「母」と「父」を責めることはよしまししょう。

その「母」と「父」も懸命に子育てをしていますが、コロナのように思いもかけないことが人生には起こります。それ以外の理由もたくさんあります。

中にはネグレクト状態の子どももいます。でもそれでも「母」と「父」を責めるだけでは解決しません。その「母」と「父」にも実は支援が必要なのです。

だからこそ、皆で支えあい、助け合うことが必要です。そのためには財源が必要です。どこに住んでいても子どもたちの心と健康と幸せを守りたい、そう願う私たちは検討を重ね、その活動を支えるための財源として「一般社団法人グリーンコープこども基金」を設立することにしました。

具体的な財源の中身として、福祉活動組合員基金連合会からの寄付や共済手数料収入(1%)、カタログ回収事業収入の収益金などを充てます。そして、グリーンコープの組合員なら誰でも寄与できるものとして、グリーンコープ商品(菓子パン)への課金も予定しています。

こうする事で、たくさんの組合員が無理なく、広く関わりをもて子どもたちを応援することができます。そして、今後この基金があることで、各生協は資金を心配せず、安心して積極的に、子ども支援をすすめることができます。

変わらぬ私たちの願い

『元気な子どもの笑顔、家族の健康、窓辺にこぼれるやわらかな日差し、小鳥の鳴き声…私たちの願いはこのささやかな、そして、基本的な希望が子どもたちの未来にまで続いていくことにあります。』を願って、ここに「一般社団法人グリーンコープこども基金」を設立します。

みんなで、未来を担う子どもたちをしっかりと応援していきましょう。

2021年2月16日  
一般社団法人グリーンコープこども基金  
発起人会一同